

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	寺方小・南小学校統合校	階数	地上5F
建設地	大阪府守口市寺方元町四丁目1番4	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	780 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年3月15日
敷地面積	10,718 m ²	作成者	(株)大建設 久保田
建築面積	3,269 m ²	確認日	2016年3月15日
延床面積	9,740 m ²	確認者	(株)大建設 西端



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	93%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.1
温熱環境	3.0
光・視環境	3.6
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

機能性	4.0
耐用性	3.2
対応性	3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性	4.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	4.3
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

水資源	3.4
非再生材料の	4.0
汚染物質	2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.3
地域環境	3.1
周辺環境	3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地環境を活かしたコンパクトな建物とし、地域の憩いの場となるよう近隣へ配慮した親しみのある建物とした。		0
Q1 室内環境 吹抜け部分には昼光利用設備として自然換気システム付トップライトを設けた。	Q2 サービス性能 各教室の天井高さは2.7mを確保し、階高にもゆとりを持たせている。また小学校であるため、耐久性や防汚性、清掃の容易さにも最大限配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地面積の20%以上の緑地を確保し、緑と花のあふれるまちづくりの方針に沿った計画としている。
LR1 エネルギー 自然換気システム付トップライトや太陽光パネルを設けることで、空調エネルギー及び電気エネルギーの削減を行った。	LR2 資源・マテリアル RC躯体と内装仕上げは容易に分別可能な取組みとし、資源の再利用可能性の向上に寄与している。	LR3 敷地外環境 校庭を天然芝及び人工芝で計画することで、近隣への砂塵対策を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0126

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	寺方小・南小学校統合校					
		建設地	守口市寺方元町四丁目1番の一部					
		用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				3		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.3	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.3		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		・敷地面積の20%以上の緑地を確保した。						